

Ⅲ 広域産業振興(農林水産部)

1. 取組みの基本方針 (ねらい・視点)

関西広域連合では、各構成府縣市におけるこれまでの農林水産業に関する振興施策を十分に尊重し、かつこれらの施策と連携しつつ、府縣市域を超えた行政組織であるという新たな視点と立場から、農林水産業を成長産業として位置付け、関西の産業分野の一翼を担う競争力のある産業として育成・振興する。

〔7分野における基本的な取り組み〕		H25要求額
広域産業振興(農林水産部)(事業費計)		2,357千円
管理費		410千円
(1) 関西広域農林水産ビジョンの策定		
└───┬───	① 関西広域農林水産ビジョンの策定	541千円
(2) 地産地消の推進		
└───┬───	② ”おいしい! KANSAI 召しあがれ” プロモーション事業	520千円
└───┬───	③ “おいしい! KANSAI 召しあがれ” キャンペーン事業	886千円

2. 事業概要

(1) 「関西広域農林水産ビジョン」の策定

① 「関西広域農林水産ビジョン」の策定 (541千円)

関西広域連合では、府縣市域を超えた行政組織であるという新たな視点と立場から、農林水産業を産業分野の一翼を担う競争力ある産業として位置付け、育成・振興していく必要がある。そのため、構成府縣市と協議・調整しながら、関西の農林水産業の将来像やその実現に向けた戦略などを示したビジョンを策定し、広域連合の特性を活かした農林水産業振興に努める必要がある。

○ ビジョン検討組織(委員会) (仮称)

- ・開催回数：5回程度
- ・委員：学識経験者等

○ 策定期期

- ・平成25年度中

(2) 地産地消の推進

現在、各府県市における地産地消運動は、市町村や府県域を活動範囲として様々な取組を実施している。

一方、関西広域連合の構成府県市では、伝統野菜をはじめ、梨、みかん、柿などの果物、ブランド牛肉など全国に誇れる農林水産物が数多くあり、エリア内の約2,000万人の消費者にも府県域を超えて供給されている。

こうした状況を踏まえ、関西広域連合における地産地消の取組は、「まず地場産・府県産、なければエリア内産」を基本に、エリア内の特産農林水産物をより身近なものとして親しみを持って利用してもらうことにより、エリア内でのより一層の消費拡大を図る運動とし、“おいしい！KANSAI召しあがれ”（仮称）のもと、プロモーション事業やキャンペーン事業を実施する。

① “おいしい！KANSAI召しあがれ” プロモーション事業 (520千円) 新規

○「おいしい！KANSAI応援企業」の登録制度の創設

関西広域連合農林水産部が行う地産地消運動の趣旨に賛同する企業等を、“おいしい！KANSAI応援企業”として登録する制度を創設し、社員食堂や職員食堂でのエリア内農林水産物を使った料理の提供を通じて消費拡大を図る。

- ・ 関西経済連合会等を通じて、企業へ働きかけ（啓発用リーフレットの配布）
- ・ 広域連合ホームページでの登録企業の紹介
- ・ 登録企業へ特産農林水産物リスト及びミニのぼりの配布、旬の特産農林水産物情報を発信

○学校への特産農林水産物利用促進のための啓発

学校給食でのエリア内特産農林水産物等の利用促進を図るため、利用可能な特産農林水産物リストをデータベース化するとともに、広域連合が構成府県市の学校給食会や学校栄養士等が参集する場に出向き、啓発を実施する。

また、生産者団体が独自に実施している他府県学校への出前授業の取組を活用し、エリア内特産農林水産物を広く啓発するため、広域連合が双方のニーズを把握し、提供元と受入先のマッチングを実施する。

② “おいしい！KANSAI召しあがれ” キャンペーン事業 (886千円) 新規

○2013食博覧会・大阪でのPR

構成府県市が出展するブースを広域連合コーナーとして集め、構成府県市連携のもと、エリア内の特産農林水産物のPRを行う。

- ・ 出展ブース共用部分の装飾
- ・ 啓発資材の作成

注) “おいしい！KANSAI召しあがれ” とは、関西広域連合のエリア内特産農林水産物の消費拡大を図るためのキャンペーン名称